

令和5年度 事業報告について

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ変更されたことに伴い、行動制限による活動中止・縮小を余儀なくされていた地域活動に再開の兆しが見受けられた。

そのため、神戸市中央区社会福祉協議会（以下、本会）では“ポストコロナの地域支援”として、地域活動の再開支援や更なる活性化、住民同士のつながりづくりの促進など、幅広く社会福祉事業の推進に取り組んだ。

住民主体の地域福祉活動の支援においては、ひとりぐらし高齢者ふれあい給食サービスやつどいの場、こどもの居場所などで立ち上げ相談、活動拡充のための助成等を行った。加えて、本会が行う事業においては、高齢者・児童・障がい児（者）などの各分野およびそれらを横断的に支援する包括的な福祉事業の展開を行った。

また、地域活動においては「担い手の不足・高齢化」が引き続き課題となっている。本会ではボランティアセンター事業を中心に、新たな活動者の発掘や担い手の育成を目的とした講座の開催を行うとともに、受講後のグループ組織化など地域へ“つなぐ”ための仕掛けづくりにも注力した。加えて、赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金・善意銀行といった地域のみなさまからの寄付を効果的に活用し、区独自の課題解決につながる各団体事業への助成等を行った。

一方で、令和4年9月に受付を終了した「生活福祉資金 新型コロナウイルス特例貸付」の償還が始まり、生活困窮を含む複合的かつ複雑化した福祉課題が顕在化している。

それらの課題解決に向けて、本会では、制度の狭間にある個別ケースへの対応を積極的に行い、同時に課題解決のために行政や専門機関との連携をすすめ、関係者間のネットワーク構築に取り組んだ。

なお、令和6年3月の理事会・評議員会の決議を受け、本会は令和7年4月1日から他8区の社会福祉協議会とともに神戸市社会福祉協議会（以下、市社協）へ法人を統合することとなった。市社協との合併にかかる基本合意にも明記されたとおり“より一層の地域福祉の拡充を図る”ことが法人統合の本旨であり、本会は円滑・確実な統合に向けた準備をすすめるとともに、引き続き地域とともに関係機関と連携しながら各種事業の推進を行っていく。

I つながり、支え合えるまちづくりの推進

1. 地域福祉事業

既存の制度や支援体制では対応が困難な福祉課題や複合的な福祉課題を抱える方が地域の中で孤立しないために、地域の方々や専門機関等とのネットワークの構築等に地域福祉ネットワークを中心として本会各職員が連携して取り組んだ。変化する情勢に対応した地域支援のあり方及びその方策について検討・共有しながら、本会の総合力で多様な地域課題への対応をすすめた。

(1) 暮らし支援窓口等との連携による生活困窮者への支援

これまでの生活困窮者支援に加え、令和4年9月に受付を終了した生活福祉資金「新型コロナウイルス特例貸付」の償還手続きの支援では、生活再建の相談を行う中で、必要時に暮らし支援窓口との連携を図り、食支援等を行った。また、個別ケースの相談について、早い段階で暮らし支援窓口や他機関と情報共有し、様々な生活課題や地域における福祉課題の解決に向けて、地域住民組織と関係機関とのネットワークを構築しながらの支援を実施した。

- | | | |
|-----------------------|------|------|
| ① 住民が抱える対応困難な生活課題への支援 | 受付件数 | 101件 |
| ② 暮らし支援窓口との連携 | | 122回 |
| ③ 支援調整会議への出席 | | 12回 |

(2) 区役所内における連携と協働

生活に困難を抱えている方の課題解決に向けて、区役所内各課とケース会議や情報共有を行いながら支援を行った。また、地域情報や事業の共有を通じて、地域活動への支援を効果的に行うことができた。

- | | |
|---------------------|-----|
| 地域支援担当課連絡会の開催 | 5回 |
| 中央区要保護児童対策地域協議会への出席 | 12回 |

(3) 個別ケースへの対応

複雑困難なケースが増加している中で、区社協内はもとより行政や専門機関と連携して支援を実施した。地域住民からの情報提供で潜在化したニーズの発見につながったケースもあり、ネットワークを生かして個別ケースの対応ができた。

【取り組み事例】

- ① 高齢の母親が障害を持つ双子の息子の面倒を見ているゴミ屋敷状態の家に居住する8050の3人世帯に対し、多職種と連携しながら支援を実施した。
- ② 高齢の母親宅に腰を痛めて就労不可の娘が引っ越ししてきていると民生委員より情報提供があり、訪問により潜在化したニーズの発見・支援につながった。

(4) 地域における福祉課題の共有とネットワーク構築の支援

地域における福祉課題について、地域住民、学校、地域の団体等で情報交換をしながら、誰もが暮らしやすい地域づくりに向けて支援を行った。

- | | |
|-----------------|---|
| 地域福祉ネットワーク会議の開催 | 1地区（橘地域） |
| ア 開催日 | 令和5年9月22日（金） |
| イ 場所 | 橘地域福祉センター |
| ウ テーマ | 地域の外国にルーツをもつ世帯の状況と課題について
外国にルーツを持つ方とのコミュニケーション |

エ 参加者 橘ふれあいのまちづくり協議会 役員他

地域福祉ネットワーク会議開催後、地域に住む外国にルーツを持つ方が、当該地区の防災訓練に参加した。また翌週に、やさしい日本語勉強会&情報交換会を開催し、地域交流の機会を創出した。

- ・令和6年1月20日（土）橘防災のつどい（防災訓練）
- ・令和6年1月27日（土）やさしい日本語勉強会&情報交換会



（５）外国にルーツを持つ世帯への支援（地域交流）

外国にルーツを持つ世帯への支援や文化の違いを超えた相互理解を深めるため、様々な機関と連携して取り組んだ。

① やさしい日本語勉強会&情報交換会 in 橘地域（再掲）

地域福祉ネットワーク会議を通して、外国にルーツを持つ方とのコミュニケーションの課題が明らかとなり開催に至った。前週に行われた防災訓練にも外国にルーツを持つ方に参加していただき、地域交流の機会創出・顔の見える関係づくりのきっかけとなった。

- ア 開催日 令和6年1月27日（土）
- イ 場所 橘地域福祉センター
- ウ 講師 神戸YWCA学院 福井 武司 氏
- エ 参加者 31名

② やさしい日本語勉強会実践編 in 宮本地域

当該地域で開催された心肺蘇生法講習会とコラボする形で、やさしい日本語勉強会実践編を開催した。当該地域は、日本語学校や学校の寮などがある。外国にルーツを持つ方との共生について考える機会となった。

- ア 開催日 令和6年3月24日（日）
- イ 場所 宮本地域福祉センター
- ウ 講師 神戸YWCA学院 福井 武司 氏
- エ 参加者 15名

（６）「あおい製作所」の運営と支援者ネットワークづくり

就労準備支援事業所や支援者等と連携しながら、福祉的な課題等により地域や社会との関りが少なく、就労することが難しい方を対象に、やりがいや生きがいを感じることができる居場所としての「しごと」場（あおい製作所）の運営を行った。

地域の給食会等からメッセージカードの注文を受けて制作し、実際に地域の集いの場に出向き納品することで、参加者が、社会の一員であると感じることができる機会となった。

- ① 開催回数 79回（うち出張開催24回、就労体験7回）
- ② 参加者数 延べ559人
- ③ ボランティア参加人数 延べ222人

（７）地域福祉ネットワーク事業の発信・周知に向けた取り組み

地域福祉ネットワーク事業報告書を作成し、民生委員児童委員協議会に対して個別事例を含めて事業の周知を行った。また市社協こうべ安心サポートセンター支援員、保護観察所や保護司に事業説明を行い、連携して個別ケース対応に取り組んだ。

- ① 令和5年7月31日（月） こうべ安心サポートセンター支援員に対する事業説明
- ② 令和6年2月16日（金） 保護司会自主研修において事業説明
- ③ 令和6年2月21日（水） 障害者地域生活支援拠点事例報告会において連携事例の報告

（8）神戸市中央区社会福祉法人連絡協議会（ほっとかへんネット中央）の運営支援

顔の見える関係作りをベースとしながら、近隣の施設で構成された各グループが、交流・災害研修・SNS 広報ツールの整備等、企画運営しながら活動することで、施設同士の関係づくりをすすめた。

① 組織運営に係る会議や研修会の企画・開催

- ア 総会（対面およびオンライン） 1回
- イ 役員会 2回
- ウ リーダー会 1回
- エ 実務者研修会 2回（災害研修）
- オ 実務者自主研修会

傾聴ボランティア養成講座におけるボランティアの受け入れ 2施設

カ 実務者活動

はじめの一步ツアーへの協力 3施設

キ 実務者グループ活動

- A グループ：施設見学会、地域の給食会と保育園の交流会開催
- B グループ：災害研修企画・運営
- C グループ：あおい製作所拠点拡大への協力（モデル実施）
- D グループ：SNSを活用した広報活動

（9）ポストコロナの地域支援事業



① つながり応援事業

地域活動の再開・継続の支援だけでなく、活動の活性化、区内の住民のつながりづくりを促進することを目的に、高齢者のつどいの場に限らず、子どもの居場所等様々な団体に対し、ボランティアセンターに登録しているボランティアを中心に地域団体へ講師派遣・派遣費用の助成を行った。

- ア 申込件数 27団体（延べ60日）
- イ 講師 団体 14グループ、個人 2名

② かもめんウォークラリー

ポストコロナにおける、参加者と地域のつながりづくりとフレイル予防を目的に、“まちあるき”を通して高齢者の外出の促し、地域住民同士の交流や商店街の店舗とのつながりの場となるようウォークラリーを実施した。また連携先の店舗等とは、地域全体で見守りの輪を広げていくことが大切であるという意識を醸成した。

- ア 開催日 令和6年1月26日（金）
- イ 場所 サンキタ広場～大安亭市場
- ウ 参加者 29名
- エ かもめんウォークラリーサポーター（ボランティア） 29名

オ 連携先 吾妻ふれあいのまちづくり協議会、HMU 健康づくり続け隊、大安亭市場協同組合、社会福祉法人イエス団賀川記念館、春日野あんしんすこやかセンター、神戸市生涯学習支援センターコムスタ神戸、神戸日暮通郵便局、特定非営利活動法人中央むつみ会、中央区医療介護サポートセンター、中央区役所

2. 高齢者福祉事業

高齢になっても安心して住み慣れた地域で暮らし続けていけるよう、生活支援コーディネーターを中心として、地域における高齢者の見守り活動の支援や高齢者の生活課題に対応する地域支え合い活動の推進を、地域団体やあんしんすこやかセンター等関係機関との連携により行った。

(1) 生活支援体制の整備

地域団体や区内7か所のあんしんすこやかセンター等と連携し、地域で支援を要する人を支え合う地域づくりを行う体制整備を進めた。

① 地域課題解決に向けた協議体機能を有する会議等（実務者会）の開催

ア テーマ 「身体的精神的フレイル予防、認知症予防に対する取り組み」

イ 実施日 令和5年11月20日（月）

ウ 内容 かもめんウォークラリーの継続的实施、ウォークラリーグループの立ち上げについて検討

エ 参加者 15名

【取り組み成果】地域での見守りの機運を高めるためのウォークラリー開催決定

店舗や障害者事業所等の他業種の委員に対し、見守り体制の再構築の必要性、フレイル、認知症予防には社会参加が重要であること、地域全体で見守りの輪を広げていくことが大切であることを共有できた。

また、つながりづくりとフレイル予防を目的としたウォークラリーの実施に向け、今後の取り組みの発展につながる意見交換を行うことができた。

(2) 高齢者見守り調査の実施

高齢者が地域で安心して暮らすことができるよう、中央区民生委員児童委員協議会と区内あんしんすこやかセンターの協力により、令和4年4月1日から令和5年3月31日までに新たに70歳となった単身世帯及び、新たに75歳以上の高齢者のみで構成される世帯、区内に転入された高齢単身、老々世帯に対し見守り必要の有無について郵送調査及び訪問調査を行った。

①調査時期 郵送調査 令和5年5月～6月

訪問調査 令和5年8月～10月

②訪問調査対象人数 高齢単身世帯644名、老々世帯282名 計926名

(3) 小地域における見守りネットワークの推進

①小地域支え合い連絡会への参画

あんしんすこやかセンターと連携し各地区民生委員児童委員協議会単位で年3回開催し、地域の高齢者見守りについて情報交換を行った。

ア 出席者 民生委員、友愛訪問ボランティア、あんしんすこやかセンター職員
本会職員等

イ 実施回数 19 地区民生委員児童委員協議会 延べ 57 回

②災害復興住宅などでの見守り連絡会への参画

各住宅地域を所管するあんしんすこやかセンターが中心となって開催し、地域の高齢者見守りについて情報交換を行った。

ア 出席者 民生委員、友愛訪問ボランティア、復興住宅支援ボランティア、
あんしんすこやかセンター職員、シルバーハウジングにおける生活
生活援助員、警察等関係機関、本会職員

イ 場 所 H A T 神戸脇の浜住宅、大倉山高層住宅、筒井住宅、ルネシティ
脇浜町住宅

ウ 実施回数 4 地区 延べ 34 回



(4) ひとりぐらし高齢者ふれあい給食サービス事業 (資料1 実施状況参照)

閉じこもりがちなひとりぐらし高齢者等に地域参加の機会を提供し、孤独感の解消と相互のふれあいを深めることを目的に、給食会を通じた交流事業を実施する地域団体に対し、活動助成及び運営支援を行った。

内 容	実 績
活動グループへの運営費助成	20 グループ
年間延実施回数	247 回
延ボランティア数	1,865 名
延参加数	5,805 名

(5) ひとりぐらし高齢者友愛訪問活動事業 (資料2 実施状況参照)

民生委員児童委員と友愛訪問ボランティアが協力し、ひとりぐらし高齢者等を対象に定期的な見守り活動(友愛訪問)を実施するグループに対し活動助成、研修会の開催、相談支援を行った。

① 運営費助成

内 容	実 績
活動グループへの運営費助成	79 グループ
ボランティア数	343 名
対象者数	712 名

② 研修会の開催

ひとりぐらし高齢者等の見守り事業の充実を図るため、地域における見守り活動の活性化を目的とした研修会を実施した。

ア テーマ 「地域で認知症の人を見守るために知っておきたいこと」

イ 実施日 令和5年7月24日(木)

ウ 会 場 中央区文化センター多目的ルーム

エ 講 師 野尻 信一郎 氏(社会福祉法人神戸中央福祉会 山手さくら苑 施設長)

オ 参加者 62名

(6) テレフォンサポート事業「お達者コール中央」

訪問による見守りが難しい状況の中の有効な見守りツールとして、本会へ希望登録しているひとりぐらし高齢者に、ボランティアスタッフが電話をかけてお元気確認を行った。また、令和4年度に実施した傾聴ボランティア養成講座の受講生が新たにボランティアスタッフに加わり、活動者の輪を広げた。

実施日時	内 容	実 績
毎週火・木曜日 10:00～12:00	ボランティアスタッフ数	12 名
	対象者数	33 名
	実施日数	102 日

(7) つどいの場支援事業

地域住民によって身近な地域で自主的に運営される、高齢者の誰もが自由に参加できる「つどいの場」を充実させ、高齢者の介護予防と地域での支え合い体制づくりを進めていくため、運営支援及び新規立ち上げ支援を行った。

① つどいの場助成申請

申請件数 13 件（助成件数 12 件）

② つどいの場交流会

つどいの場支援事業申請団体に対し、交流会を開催した。ボランティア交流会との合同開催とし、高齢者を対象とした活動以外のボランティアや、他地区の民生委員や高校生とグループワークを通して意見交換を行い、つどいの場の活動の周知だけでなく、大型紙芝居やコミュニケーション麻雀、スポーツ吹矢などの活動をするボランティアとつながりができ、つどいの場の活動に取り入れていただくなど、今後のつどいの場の活動の発展につながる機会となった。

ア 開催日 令和5年12月16日（土）

イ 参加者 6 団体（延べ5名）

3. 子育て支援事業

児童館の運営支援及び管理運営並びに地域の方々や関係機関との協働による地域ぐるみの子育て支援活性化を推進するとともに、子どもの孤食防止や学習意欲の向上をねらいとした子どもの居場所としての子ども食堂や学習支援の場の支援を、子育てコーディネーターが中心となって行った。

(1) 児童館の管理運営

神戸市社協とともに管理・運営する児童館（八雲、生田川、神戸諏訪山、清風の4館）と、学童保育コーナー（山の手コーナー第1・第2）の職員の確保、雇用管理を中心に、管理運営を行った。

※入館者数 85,711 人／年（資料3 児童館利用状況参照）

(2) 児童館及び放課後児童クラブの運営支援

中央区内11児童館及び9学童保育コーナー（2学童保育コーナーは灘区）との連絡を密に取り、巡回などを通して支援を行った。

- ①子育てコーディネーターによる児童館及び学童保育コーナーの巡回
- ②児童館職員の資質向上を目指し、本会主催の研修会を実施（年3回）
- ③区内児童館の情報交換・共有のための合同館長会の実施（年3回）

（3）発達がゆっくりな児童及び保護者への対応支援強化事業 【新規】

長期間のコロナ禍による集団活動の減少やマスク生活は、子どもたちの発達に大きな影響を及ぼしている。また、放課後児童クラブにおいては、困り感を持った児童が増加し対応に苦慮している。そこで、児童館が子どもにとって安心・安全な場所となるため、児童館職員の児童対応・保護者対応のスキルアップに取り組んだ。

- ①困り感を持った児童が在籍する児童館への臨床心理士派遣（モデル実施）
 - ア 開催日 11月20日（月）、12月26日（火）、1月9日（火）、2月29日（木）計4回
 - イ 場所 神戸諏訪山児童館
- ②障害の理解及び発達に課題のある子どもやその保護者への支援をテーマとした児童館職員研修及び後日のYouTube配信
 - ア 開催日 1月30日（火）
 - イ 場所 中央区役所8階会議室
 - ウ 講師 武庫川女子大学 北口勝也教授
 - エ 参加者 109名

（4）地域の子育て支援

- ①子ども子育てサポート事業「にこにこトレイン」

区こども家庭支援室（保健師）、こども家庭局地域子育て支援担当、地域の子育て支援者等と連携し、幼児と保護者が楽しく集い、交流する場を提供し、既存の子育てサークルの活性化を図った。

- ア 回数 2回
- イ 対象者 幼児と保護者 延べ27名（大人12名、乳幼児15名）
- ウ 会場 小野柄地域福祉センター、神戸諏訪山児童館

- ②子育てコミュニティ育成事業

地域での子育て支援を進めるため、主任児童委員等が中心となり子育てコミュニティ推進協議会を設け、児童館でのイベント実施や日曜開放の取り組みを支援した。

また、プログラム内容についての情報交換会を開催した。

【子育てコミュニティ情報交換会】

- ア 開催日 令和6年1月16日（火）
- イ 場所 中央区役所5階ボランティアルーム
- ウ 参加者 6名

（5）こどもの居場所づくり事業への支援（区内28か所）



こどもの居場所開催希望団体等への立ち上げ相談支援を行うとともに、情報交換会の開催等の運営支援を行った。また区内団体の神戸市こどもの居場所づくり補助金申請時には、運営団体及び開催予定地域の状況確認を行い、神戸市へ情報提供した。また、今年度は、外国にルーツを持つこどもの居場所実施団体に特化した情報交換会を行い、横のつながりづくりを強化した。加えて「こどもの居場所マップ」を作成し、居場所を知っていただく機会を増やした。

- ①こどもの居場所 講演会・交流会

児童家庭支援センターについて知識を深め、気軽に相談できる関係づくりを図った。
また、居場所の運営者同士が集まることで横のつながりを深められるよう支援した。

- ア 開催日 令和5年9月26日(火)
イ 場所 中央区役所8階会議室
ウ 対象 (a)中央区でこどもの居場所を実施している、または実施を検討している団体や個人
(b)主任児童委員など地域の支援者等
エ 内容 (a)講演会『児童家庭支援センターについて』
講師：社会福祉法人神戸真生塾 理事長・
児童養護施設神戸真生塾 施設長 上杉 徹 氏
(b)情報交換会(グループワーク)
オ 参加者 27名

②外国にルーツを持つこどもの居場所実施団体の情報交換会

外国にルーツを持つこどもの居場所実施団体に特化した情報交換会を実施し、お互いの活動状況を情報共有する機会となった。

- ア 開催日 令和5年9月5日(火)
イ 場所 中央区役所5階ボランティアルーム
ウ 対象 区内で外国にルーツを持つこどもの居場所実施団体
エ 参加団体 5団体(区内全団体)

③中央区子どもの居場所づくり活動助成

助成実績 助成総額 50,000円

団体名	実施事業	助成額(円)
二宮こども食堂	こども食堂	50,000

④こどもの居場所立ち上げ・運営等の相談支援

延べ 新規：24件 継続：36件



(6) 中央区子育て応援事業の実施

区内の乳幼児親子を対象に、保護者の仲間づくり及び孤立化の防止として、中央区役所の庁舎を使用しおやこふらっと広場とも連携し、遊びを通じた健全育成の場を提供した。また、児童館を知っていただく機会とした。

- ア 開催日 令和5年10月12日(木)
イ 場所 中央区役所1階 多目的ルーム、3階おやこふらっとひろば
5階屋外デッキ
ウ 参加者 のべ360人
エ 内容 「かば☆うま」コンサート、おやこふらっとひろば自由遊び
マジックバルーン、かもめん写真コーナー、共募ガチャガチャコーナー



(7) 外国にルーツを持つ児童への支援

学校での勉強に不安を覚える外国にルーツをもつ児童への学習支援及び放課後の居場所となる場の運営支援を行った。

名 称	実施主体	小学校区
はいず	(社福)イエス団 賀川記念館 NPO 法人神戸定住外国人支援センター 吾妻地域福祉ネットワーク会議	中央小学校
DAIJI メイト	大慈厚生事業会	湊小学校
Minatojima Kids 学習クラブ	(社福)イエス団 港島児童館	港島学園
地球っ子	雲中ふれあいのまちづくり協議会	雲中小学校



(8) 子育て世帯包括支援

増加する中央区内での虐待案件を未然に防ぐため、区こども家庭支援室と連携し、身近な社会資源である児童館を活用した在宅育児家庭への支援を強化した。

①子育て情報紙「ほっと♡ほっと」保存版の発行

区内の親子の集い場などの情報を集約した子育てマップを作成し、地域情報・社会資源の情報提供ツールとして、「はじめのいっぽツアー」の参加者や子育て関係機関等に配布した。

②はじめのいっぽツアー（ファーストステップ事業）

初めて地域の集い場に行く親子やプレパパ、ママに支援者が同行し、地域との関わりのきっかけづくりの支援を行った。（全10回）

実施日	行き先1	行き先2	参加組数(組)
令和5年6月21日(水)	神戸市立生田保育所	清風児童館	2
令和5年9月15日(金)	神戸市立神戸幼稚園	神戸諏訪山児童館	2
令和5年9月16日(土)	友愛幼稚園	生田川児童館	2
令和5年9月25日(月)	幼保連携型認定こども園 はたつかこども園	旗塚児童館	1
令和5年10月2日(月)	おのえ子育てサークル	二宮児童館	2
令和5年10月17日(火)	大慈幼保連携型認定こども園	東川崎児童館	1
令和5年10月20日(金)	神戸市立あづま幼稚園	なぎさ児童館	3
令和5年11月8日(水)	神戸市立葺合保育所	八雲児童館	2
令和5年11月15日(水)	幼保連携型認定こども園 神戸ゆたか園	ときわんモトロク	3
令和5年11月17日(金)	神戸市立港島幼稚園	港島児童館	1
合計			19

※参加者数：乳幼児と保護者 延べ42名（大人23名、乳幼児19名）

③おしゃべりほっとタイム（子育て相談）

地域の身近な社会資源である児童館において、子育てに関する悩み相談を保健師、助産師、臨床心理士などの専門家が対応し、乳幼児をもつ母親の「育児不安の軽減、孤育をなくすとともに、虐待の早期発見・予防に努めた。

ア 実施回数 64回

イ 参加者 子育て中の保護者 延べ428名（内、相談件数 延べ377件）

ウ 会場 区内11児童館

4. 障がい者福祉事業

(1) 中央区自立支援協議会への参画

障がい者の自立と社会参加を支援するため、中央区自立支援協議会の活動への参加、協力を行った。

- ① 販売促進ネットワーク部会への参加
よってこ！かってこ！マーケット（区役所での販売会）への協力、区役所等でのチラシによる受注販売検討及び広報を行った。
- ② クリーンボランティアへの参加
12月の障害者福祉週間に、神戸駅周辺・吾妻地域で実施されたクリーンボランティア活動へ参加した。



(2) 福祉学習の実施

中央区にある企業対象に、障がいとヘルプマークについての講座による、障がいへの理解を深めるための福祉学習を実施した。

- ① 開催日 令和6年2月19日（月）
- ② 参加者 第一生命株式会社・三宮オフィス従業員・神戸職域営業オフィス従業員 49名
- ③ テーマ 障がいについて理解を深めよう
- ④ 講師 たちばな障害者相談支援センター 森田 裕一 氏
いそがみ障害者相談支援センター 藤井 雅子 氏

(3) 車いすの無料貸出

年間取扱い件数 140件

(4) 手話の普及促進

「神戸市みんなの手話言語条例」に基づき、市民や事業者に対して、聴覚に障がいのある方への理解促進や手話を学ぶ機会として、手話入門講座を開催した。

- ① 名称 中央区手話入門講座
- ② 期間 令和5年6月14日～11月8日 毎週水曜 10:00～12:00 全21回
- ③ 場所 神戸市立総合福祉センター他
- ④ 参加者 16名（うち修了11名） のべ参加者 270名

5. 相談・援助事業の実施

(1) 心配ごと相談所の運営

民生委員が、区民の心配ごと・悩みごとの相談に応じ、助言を行った。毎月第2火曜日に開催、実施回数12回。

(2) 成年後見制度の利用手続き～中央区相談窓口の開設～

成年後見の相談ニーズに応えるため、神戸市社協が実施する無料相談窓口を中央区役所内で開設した。毎月第4木曜日に実施、実施回数11回。

(3) 生活福祉資金の貸付

生活福祉資金の貸付相談に関する対応を行った。また、くらし支援窓口との情報共有・連携を密にし、必要に応じて地域福祉ネットワークとの協働により世帯支援を行った。

①生活福祉資金（※「新型コロナウイルス特例貸付」以外）

低所得世帯・障害者世帯・高齢者世帯の経済的自立のため、教育支援資金や生活必需品購入等資金の貸付を行った。

ア 電話・来所延べ相談件数 2,986 件

イ 教育支援資金説明会

目的：高校進学にあたり必要な資金が捻出できない家庭に対し、進路指導段階で迅速な対応ができるようにする。

対象：中央区内公立中学校教諭（7校中7校7名参加）

開催日：令和5年8月23日（水）

会場：中央区役所 802 会議室

ウ 貸付状況

資金種類	貸付決定件数（件）	貸付決定金額（円）
教育支援資金	61	23,153,000
福祉資金	13	1,326,000
緊急小口資金	12	1,060,000
つなぎ資金	0	0
総合支援資金	0	0
計	86	25,539,000

② 生活福祉資金「新型コロナウイルス特例貸付」

令和5年1月から開始した償還手続の対応に加えて、償還免除・猶予等に関する相談に対応した。

ア 貸付状況（令和4年9月30日、申請受付終了時点）

資金種類	貸付決定件数（件）	貸付決定金額（円）
緊急小口資金	5,652	1,017,250,000
総合支援資金※	8,830	4,523,860,000
計	14,482	5,541,110,000

※初回、延長、再貸付の合計

イ 相談件数

資金種類	来所相談（件）	電話相談（件）	口座登録受付（件）
緊急小口・総合支援	304	178	30

ウ 償還猶予、免除申請承認状況

資金種類	償還猶予（件）	償還免除（件）
緊急小口・総合支援	178	1,647

Ⅱ つながり、支え合うこころの醸成

1. ボランティアセンターの運営

(1) ボランティアの登録・コーディネート

①ボランティアに関する相談受付

ア 相談・情報提供件数 延べ 2829 件

イ ボランティア共済、助成金情報、ボランティア紹介、活動紹介等

②ボランティアの登録

ア 個人登録 221 名

イ 団体登録 299 団体

③ニーズの受付

ア 件数 個人より 13 件、団体等より 101 件 合計 114 件

イ 内容 外国人支援、家事支援、行事出演、外出支援等、託児、施設補助

(2) ボランティア講座・研修会の開催

①中央区手話入門講座（再掲）

②セカンドライフ応援講座第 2 期の開催状況

項目	第 1 回	第 2 回	第 3 回	第 4 回
開催日	令和 5 年 6 月 29 日 (木)	令和 5 年 7 月 19 日 (水)	令和 5 年 9 月 21 日 (木)	令和 5 年 10 月 5 日 (木)
場 所	中央区役所 801・802・803	中央区役所 801・802・803	中央区役所 801・802・803	中央区役所 801・802・803
講 師	motto ひょうご 栗木 剛 氏	むかしあそび 研究会	ルカフォト 宮川 理恵氏	motto ひょうご 栗木 剛 氏
内 容	「はじめての地 域デビュー」に ついて	“好き” “得 意” を活動に～ むかしあそび編 ～	プロから学ぶ 地域カメラマン デビューの道！	「はじめのいっ ぽを踏み出そ う」
参加者	32 名	21 名	25 名	20 名

③セカンドライフ応援講座「振り返りの会」

開催日：令和 5 年 11 月 13 日(月)

場 所：中央区役所 802・803 会議室

講 師：コミュニケーション麻雀グループ「すずめの会」

(令和 4 年度セカンドライフ応援講座受講生で結成)

参加者：10 名

【取り組み事例】ボランティア講座を経てボランティアカメラマンが誕生

「セカンドライフ応援講座」を通して、ある受講者が「もともとの趣味だったカメラ」を地域活動や区内イベントで「カメラマンボランティア」としてボランティア活動に活かすことができると感じて、ボランティアセンターでボランティア登録を行った。

今年度「カメラマンボランティア」として地域活動や区内イベントにおいて、積極的なボランティア活動を予定しており、趣味・特技を活かしたボランティアが誕生した。

④ボランティアスキルアップ講座～傾聴力を磨く～

ア 目的 中央区でボランティア活動をしている方を対象に講義・施設体験、振り返りを通して、中央区の施設のニーズに寄り添った活動者を養成することを目的として開催する

イ 開催日 1日目：令和6年3月6日（水）
2日目：令和6年3月19日（火）

ウ ボランティア体験の受入施設一覧

受入施設	受入日	受入人数
デイサービスすいれん	3/7・3/8・3/11	各日2名
デイサービスらしく	3/12・3/14	各日3名
自立センターあづま	3/13・3/15	4名・3名
友愛幼稚園	3/11・3/18	4名・3名

エ 場所 神戸市立中央区文化センター1101

オ 講師 会話の泉 事務局長
コミュニケーションサポーター 横山 由紀子氏

カ 参加者 1日目：26名
2日目：21名

⑤ボランティア入門講座（毎月実施）

開催日	参加人数	内容
令和5年4月21日（金）	2名	中央区でボランティア活動を始めた方を対象にしたボランティアの基礎知識や心構えについてのミニ講義と簡単なボランティア体験を実施。
令和5年5月19日（金）	3名	
令和5年6月16日（金）	4名	
令和5年7月21日（金）	4名	
令和5年8月18日（金）	2名	
令和5年9月15日（金）	5名	
令和5年10月20日（金）	1名	
令和5年11月17日（金）	4名	
令和6年1月19日（金）	4名	
令和6年2月16日（金）	4名	
令和6年3月22日（金）	4名	

⑥神戸市社協市民福祉大学主催「精神保健福祉ボランティア講座」出講

地域でのボランティア活動を推進することを目的に、「区のボランティアセンターについて」の講話を行った。

ア 目的 精神保健福祉への理解促進とサポートボランティアの育成

イ 実施日 令和5年10月17日（火）

ウ 場所 こうべ市民福祉交流センター

エ 参加者 45名

(3) ボランティア活動の支援と活性化、組織化

①中央区ボランティア交流会

「私たちこんな活動をしています！」つながろう・つなげよう中央の“わ”

ア 開催日 令和5年12月16日（土）

イ 場所 神戸市立中央区文化センター 多目的ルーム
中央区役所8階801～803会議室

ウ 講師 あそびの工房もくもく屋
事務局長 コミュニケーションデザイナー 田川 雅規氏



- エ 内 容 ボランティア体験ブース
出演ボランティアによるステージ
講師による講義とグループワーク
- オ 参加者 111名

②神戸婦人大学生向け相談会への参加

神戸市社協が神戸婦人大学生を対象にボランティアセンターの広報と地域活動の推進を目的として実施する活動相談会に参加し、中央区での活動希望者を対象に、中央区に寄せられるニーズや活動についての相談に応じた。

- ア 実施日 令和6年3月13日（水）
イ 場 所 あすてっぶ神戸3階
エ 参加者 3名

(4) ボランティア活動紹介冊子の作成（再掲）

中央区登録ボランティアの広報と施設や地域での活動先開拓を目的に作成。

本会ホームページ (<https://chuou-shakyo.or.jp/>) に掲載し、今後も随時、情報更新を行う。

(5) 福祉教育の推進



①認知症ジュニアサポーター養成講座

区内の高校生を対象に、認知症の症状や当事者の気持ちを理解し、認知症の方への接し方を考える機会を持つことを目的に実施した。

- ア 実施日 令和5年9月27日（水）
イ 場 所 第一学院高等学校 神戸キャンパス 5階教室
エ 参加者 生徒24名、教員3名

②中学生防災教育支援事業

防災・減災学習の視点から、中学生自身が身近な地域に目を向け、災害発生時に「地域の支援者」として貢献できる力と可能性が内在していることを自覚し、地域の大人とともに安全・安心なまちづくりに参画していく意欲を培うことを目的として実施した。

- ア 実施日 令和6年1月24日（水）
イ 場 所 神戸市立布引中学校
ウ 講 師 クロスロード研究会 中村 美保氏
エ 内 容 災害対応カードゲーム教材「クロスロード」を活用した防災学習
オ 参加者 59名（中学生39名、教諭4名、市職員3名、地域参加者10名）

③障がいへの理解を深める福祉学習（再掲）

④共同募金についての学習

共同募金の使いみちと地域の福祉について学習した。

- ア 第一学院高等学校（令和5年5月31日（水）実施）

共同募金の使いみちと地域の福祉についての学習後、共同募金委員会と協力してLINEスタンプの作成販売による募金活動に取り組んだ。



(6) 「KOBESINIA元気ポイント」制度の運営への協力

市が主催する制度の説明会において、ボランティア活動の説明を行った。

回	開催日	場 所	参加人数
1	令和5年 4月11日(火)	総合福祉センター	6名
2	令和5年 5月26日(月)	総合福祉センター	5名
3	令和5年 7月18日(木)	総合福祉センター	1名
4	令和5年 8月21日(月)	産業振興センター	2名
5	令和5年10月27日(金)	産業振興センター	2名
6	令和5年12月19日(火)	総合福祉センター	1名
7	令和6年 2月19日(月)	総合福祉センター	2名

(7) ボランティア活動に対する助成

①ひょうごボランティア基金「県民ボランティア活動助成」申請の受付

ア エントリー受付 108グループ

イ 交付申請 91グループ

② 神戸市社会福祉協議会ボランティア基金 ボランティアグループ活動助成

交付申請 4グループ

(8) ボランティアルームの運営

新庁舎移転後、区役所内にボランティアルームを設置し、ボランティアグループの活動の支援を図り、203件の利用があった。



(9) 地域団体、ボランティアグループへの備品貸出

高齢者疑似体験セット、コミュニケーション麻雀、オンライン接続機器等 7件

(10) ボランティア災害共済等の受付

内 容	受付件数
兵庫県ボランティア市民活動災害共済加入	413件
兵庫県ボランティア市民活動災害共済給付金	15件
兵庫県ボランティア活動等行事用保険加入	209件

2. 募金活動等助成金の広報・啓発

中央区共同募金委員会による赤い羽根共同募金運動・歳末たすけあい運動で寄付いただいた募金について、中央区の社会福祉団体、社会福祉施設、ボランティアグループ等へ助成することにより、区内の地域福祉の活性化を図った。



(1) 赤い羽根共同募金助成金事業

① 令和5年度 募金実績額 7,399,851円(1月～3月の拡大期間実績含む)

※拡大期間募金実績額 943,982円

② 社会福祉団体・施設等への支援 (資料4 配分事業一覧参照)

③ 公募助成の実績 助成総額 2,333,067円

1. Aタイプ (1 団体)

	団体名	事業名
A1	神戸市重度心身障害児（者）父母の会 中央支部	親の悩みの勉強サロン（終の住処・親亡き後・福祉の現状・親と子の健康）

2. Bタイプ (25 団体)

	団体名	事業名
B1	生田地区更生保護女性会	更生保護支援事業
B2	ASOBI の森	地域でのボランティア事業
B3	一般財団法人デフサポートかもめ	日本語⇄日本手話のバイリンガル教育を通し、日本語の不得手な人々（聴覚障害者）向けの「やさしい日本語」を身につけてもらう事業
B4	健康育児相談所	健康育児相談所事業
B5	第一学院高校ボランティアプロジェクト	地域の居場所カフェ Full of smiles cafe
B6	神戸市看護大学ボランティア部	看護学生と防災をめざした地域づくり
B7	ふれあいサポート愛	ふれあいサポート愛ちゃんカフェ
B8	神戸市立こうべ小学校 PTA	なつやすみのおうち
B9	マサヤンタハナン	フィリピンの遊びと行事を紹介する（子供のあそび クリスマス行事）
B10	関西天使ママサロン 神戸エンジェライト	周産期喪失当事者への心理社会的支援（グリーンケア）
B11	中央区保護司会	第73回“社会を明るくする運動”高校生エッセイコンテスト・小中学生作文コンテスト
B12	中央区保護司会	第73回“社会を明るくする運動”社明広報パレード事業・広報活動事業
B13	神戸市手をつなぐ育成会 中央支部	クリスマス会
B14	神戸市重度心身障害児（者）父母の会中央支部	イチゴ狩り de 交流会
B15	脇の浜キッズサポーターズ	わくわく脇の浜ひろば
B16	多文化まちづくりの会	多文化交流カフェ
B17	中央区連合婦人会	あじさいプロジェクト 「神戸の町にあじさいを増やそう」
B18	Basic academy	不登校・引きこもり家族のための福祉相談支援
B19	社会福祉法人大慈厚生事業会 母子生活支援施設ハーバー大慈	児童エンジョイ
B20	神戸市手をつなぐ育成会中央支部 本人学習グループ「てとて」	知的障がい者と共に交流しよう
B21	神戸真生塾	納涼大会
B22	真生乳児院	クリスマス会
B23	中央区母子福祉たちばな会	日帰り研修旅行
B24	神戸市少年団野球リーグ 中央地区委員会	令和5年度神戸市少年団野球リーグ中央地区事業
B25	神戸市中央区 聴力言語障害者福祉協会	中央区に住む聴覚障害者の社会参加促進

(2) 歳末たすけあい募金運動

- ① 令和5年度募金実績額 3,300,019 円

② 配分内訳

対 象	内 訳
ひとりぐらし高齢者	85歳以上 707人
重度心身障害児家庭 (65世帯)	65世帯
交通遺児家庭 (1世帯)	1世帯
障害児者団体 (3団体)	3団体
ふれあい給食会 (18グループ)	18グループ
子育て世帯への支援 (52世帯)	52世帯
教育支援資金を借りられている人への支援	10人

(3) 善意銀行の運営

広く市民や団体から善意の金品の寄付を受け、その浄財を中央区の福祉増進のため活用した。

コロナ禍において影響を受けやすい子どもたちや親子を応援するため令和2年度より実施している「地域まるごと応援プロジェクト」を継続し、助成事業を実施した。

① 預託

ア 金銭預託	13件	162,503円
イ 物品預託	12件	686,825円分 (区内企業・団体等)

② 払出

ア 金銭払出		1,088,230円
イ 物品払出	16件	686,825円分 (神戸市内児童福祉施設等)

【金銭払出内訳】

項 目	内 容
こども×笑顔 地域まるごと 応援プロジェクト	キッズボランティア 青空こどもプロジェクト ・かば☆うま ・あそびの工房もくもく屋
こどもの居場所 助成	区内のこどもの居場所 18団体
多世代・地域交流 事業助成金	生田川児童館
障害者福祉助成	車いす修繕・購入費
交通遺児助成金	対象者1名 ・中学校卒業祝金・高等学校入学祝金 ・高等学校修学資金
火災見舞金	火災世帯への払出

3. 顕彰（理事長感謝状の贈呈）

（1）功績の内容及び対象者（敬称略）

①金品の寄贈（1名・1団体）

社会医療法人 神鋼記念会 個人

②物品の寄贈（2団体）

神戸三宮ライオンズクラブ 社会福祉法人翔美会 北野坂保育園

③社会福祉功労（1名・5団体）

マジックセゾン 協浜高層コミュニティ運営会 ふれあいサポート愛

HAT 神戸協浜県住第3グループ ふれあいの会キズナ 個人

4. 広報・啓発活動の推進

（1）インターネットホームページ、SNSの運営

区社協ホームページアドレス：<https://chuou-shakyo.or.jp/>

区社協 Instagram フォロー用二次元コード



（2）子育て情報紙「ほっと♡ほっと」保存版の発行（再掲）

（3）高齢者向け情報紙「みみより」の発行

年6回、あんしんすこやかセンター（地域支え合い推進員）、中央区保健福祉課と共同発行。ひとりぐらし高齢者等に配布。

5. 地域福祉活動推進計画（第2期）の取り組み状況

これからの中央区の地域福祉に関する中長期の課題の明確化及び取り組みの重点項目の明確化のため、令和2年度に新たな5ヵ年の計画として本会が策定した地域福祉活動推進計画（第2期）の取り組み状況について、進捗確認を行った。

令和5年度事業報告 付属明細書

会議名	開催日	会場	内 容
理事会	R5. 6. 7	中央区役所	令和4年度 事業報告及び収支決算報告 次期理事及び監事候補者の選任 顧問の選任 評議員補充候補者の推薦及び評議員選任・ 解任委員会の開催 令和4年度決算にかかる定時評議員会の開催 その他
	R5. 6. 26	中央区役所	理事長および副理事長の選任について
	R6. 3. 12	中央区 文化センター	吸収合併に伴う協議事項への合意について 吸収合併契約の締結について 理事の補充選任候補者の推薦について 令和5年度 補正予算(案)について 役員等賠償責任保険契約について 令和6年度 事業計画(案)及び歳入歳出予算 (案)について 令和5年度 第2回評議員会の招集及び決議事 項について
評議員会	R5. 6. 23	中央区役所	令和4年度事業報告及び収支決算報告について 理事及び監事の選任について
	R6. 3. 26	中央区役所	吸収合併に伴う協議事項への合意について 吸収合併契約の締結について 理事の補充選任について 令和5年度 補正予算(案)について 令和6年度 事業計画(案)及び歳入歳出予算 (案)について
善意銀行 運営委員会	R5. 5. 31	中央区役所	令和4年度歳入歳出決算について
	R6. 2. 29	中央区役所	令和5年度歳入歳出中間報告について 令和6年度事業計画(案)及び預託・払出 (案)について
監事監査	R5. 5. 22	中央区役所	令和4年度事業報告について 令和4年度決算について その他
評議員選任・ 解任委員会	R5. 6. 7	中央区役所	評議員の補充について
「市・区社協 組織体制のあ り方検討会」 の報告会	R5. 9. 12	中央区 文化センター	市・区社協組織体制のあり方検討会について

資料 1

令和5年度ひとりぐらし高齢者ふれあい給食サービス実施状況

(単位：人)

	団体名	実施回数	延参加ボランティア数	延参加高齢者数	参加者合計	平均参加者数	備考
1	吾妻ふれあいお食事会	12	55	246	301	25	
2	楠北ふれあい給食	12	60	419	479	40	
3	雲中あじさい会食会	4	47	112	159	40	
4	ふれあい会食会山手	11	222	351	573	52	
5	上筒井あじさいふれあい会	11	87	214	301	27	
6	東川崎ふれあいのまちづくり協議会	11	142	525	667	61	
7	宮本ふれあい会	24	220	326	546	23	
8	小野柄ふれあい給食会	12	102	573	675	56	
9	下山手ふれあい会	8	40	416	456	57	
10	生田川地区ふれあい会	12	91	166	257	21	
11	北野ふれあい会	10	148	261	409	41	
12	春日野ふれあい会	5	60	158	218	44	
13	神戸諏訪山ふれあい会食会	12	77	243	320	27	
14	若菜ふれあい給食会	11	128	139	267	24	
15	ルネシティふれあい会	12	60	224	284	24	
16	二宮ふれあい給食会	12	71	345	416	35	
17	ソロソロ会	12	67	95	162	14	
18	百寿あゆむ会	12	36	226	262	22	
19	ふれあい会キズナ	22	113	240	353	16	
20	心のふれあい会 ひまわり	22	39	526	565	26	
	合計	247	1,865	5,805	7,670	31	

平均 平均 平均 平均
12.4 93.3 290.3 383.5

資料2

中央区ひとりぐらし高齢者友愛訪問実施状況

令和6年3月末

No	地区名	グループ名	ボラン ティア数	対象者 数	No	地区名	グループ名	ボラン ティア数	対象者 数	
1	上筒井	上筒井第一グループ	3	3	41	生田	異人館	3	3	
2		上筒井第3グループ	4	6	42		北野友愛	4	14	
3		上筒井第5グループ	3	9	43	山手	山手地区A	5	13	
4		上筒井第6グループ	5	5	44		山手地区友愛B	6	10	
5	雲中	雲中第1グループ	5	5	45		山手地区友愛C	5	13	
6		雲中第4グループ	5	5	46	下山手	神戸長寿会	10	15	
7		雲中第5グループ	5	5	47		大倉山高層住宅Aグループ	3	30	
8	宮本	あずま	3	3	48	楠北	楠二グループ	6	5	
9		秋桜	3	9	49		楠東第2友愛訪問グループ	5	5	
10		夢	3	5	50		楠東第3グループ	5	5	
11		めぐみ友愛グループ	4	10	51		楠六自治会第一グループ	6	5	
12		カトレア	3	4	52		楠六自治会第二グループ	6	6	
13		野菊グループ	4	3	53		楠グループ	5	5	
14		銀杏	3	10	54		楠一南友愛グループ	5	5	
15		さつき	3	6	55		楠三グループ	5	7	
16		メープル	3	3	56		楠五自治会友愛Aグループ	5	5	
17		たんぼぼ	3	5	57		友愛楠一北グループ	5	5	
18		ひまわり	3	9	58		多間通4丁目友愛グループ	5	4	
19		ひなげし	3	10	59		楠南	絆	5	21
20		すみれ	3	5	60			縁	5	11
21	筒井	ひまわり「友愛」	3	7	61	東川崎7丁目Aグループ		5	6	
22		一粒の種から	3	4	62	川・相グループ		5	8	
23	八雲	ルミナス	4	5	63	東川崎5丁目グループ		5	15	
24	HAT 脇の浜	友愛ニューシルバー脇の浜	5	15	64	相生グループ		5	5	
25		HAT神戸脇ノ浜県住第一グループ	3	6	65	すみれ草		5	25	
26		HAT神戸脇ノ浜県住第二グループ	3	6	66	相生すずらん会		5	13	
27		HAT神戸脇ノ浜県住第三グループ	4	6	67	東川崎町なかよしグループ		5	7	
28		友愛コスモス	3	11	68	あじさい		5	18	
29		HAT中央	5	14	69	やまびこ	5	15		
30		オリーブ	3	13	70	港島	パークシティ見守り訪問隊A-1	5	8	
31		愛好	5	13	71		パークシティ見守り訪問隊A-2	5	5	
32		フラッツペアー	5	30	72		パークシティ見守り訪問隊B-1	6	5	
33		ウエストガーデン	3	9	73		パークシティ見守り訪問隊B-2	5	5	
34	小野柄第1グループ	3	9	74	パークシティ見守り訪問隊C-1		5	5		
35	小野柄第2グループ	3	6	75	エバーグリーン友愛訪問グループ		5	4		
36	小野柄第4グループ	4	12	76	ポートピアブラザ見守り訪問Aグループ		6	15		
37	小野柄第6グループ	3	8	77	ポートピアブラザ見守り訪問Bグループ		6	15		
38	小野柄第7グループ	3	10	78	ポートピアブラザ見守り訪問Cグループ	5	15			
39	小野柄第8グループ	4	7	79	ポートピアブラザ見守り訪問Dグループ	5	15			
40	小野柄第9グループ	3	10							

小計 202 391

小計 143 321

対象者数合計 712

資料 3

令和5年度児童館来館者数

(単位:人)

	生田川 児童館	八雲 児童館	清風 児童館	神戸諏訪山 児童館	山の手 第1コーナー	山の手 第2コーナー	合計
4月	645	1,687	575	2,603	1,382	769	7,661
5月	601	1,507	567	2,526	1,311	830	7,342
6月	819	1,572	551	2,963	1,405	882	8,192
7月	1,144	1,777	609	3,118	1,350	842	8,840
8月	955	1,246	577	1,952	974	650	6,354
9月	892	1,293	466	2,452	1,260	841	7,204
10月	709	1,501	491	2,370	1,344	786	7,201
11月	896	1,317	487	2,267	1,160	739	6,866
12月	937	1,240	441	2,203	1,316	773	6,910
1月	770	1,131	353	1,922	1,192	716	6,084
2月	777	1,144	407	1,936	1,159	706	6,129
3月	1,052	1,240	438	2,239	1,235	724	6,928
合計	10,197	16,655	5,962	28,551	15,088	9,258	85,711

資料4

令和5年度 共同募金 配分事業一覧

令和4年度 募金実績に基づく令和5年度の配分	¥5,208,991
令和4年度までの繰越残高	¥4,021,137
収入合計 (A)	¥9,230,128

(単位:円)

赤い羽根共同募金配分金事業				
	団体名	配分内容	使用用途	配分額
高齢	各給食団体	ふれあい給食会助成		492,500
障害	吾妻地域福祉ネットワーク (はいず)	外国にルーツをもつ子どもの支援	はいず (期間拡大募金を充当)	270,220
公募		赤い羽根地域づくり助成 (公募助成) (Aタイプ、Bタイプ)		2,338,677
		子どもの居場所づくり支援		200,000
		次世代育成 (福祉学習)	障害学習・認知症・外国人支援	55,668
		災害支援活動	災害備品の購入・災害支援	251,538
		子育て包括支援事業	おしゃべりほっとタイム	88,213
		子育て応援事業	児童館合同ふれあい事業	50,000
		コロナ禍における新たなつどいの場の創出	エンディングノートの活用	14,040
		withコロナつながり応援事業		206,870
		広報啓発活動の強化	HPリニューアル	66,220
		SNSの活用		37,255
		ボランティア講座	機材貸出講座	50,000
		ボランティア交流会		139,873
		交流の場・つながる場の支援助成		0
		緊急的な課題への対応等		0
	各地区民児協	地区民児協活動助成金等	各地区民児協	491,770
	中央区連合婦人会	中央区連合婦人会文化スポーツ育成総合事業	神戸まつりパレード、神戸海の盆踊り、民踊のつどい等	300,220
		配分合計 (B)		5,053,064

A: 収入合計	B: 配分結果		A-B 令和6年度への繰越金
¥9,230,128	¥5,053,064		4,177,064

配分合計+繰越金		9,230,128
----------	--	-----------